

はじめに、昨日、島根県より新型コロナウイルスの感染者について発表がありました。該当者は大阪府在住ですが、28日夕方に安来市内の親戚宅を訪問し、29日にPCR検査を受け陽性が判明しました。安来市としましては、確認の状況等から、現時点で感染拡大の可能性は低いと考えています。

引き続き感染拡大防止に努めるとともに、感染者や濃厚接触者などの個人を特定する行為等、誹謗中傷につながる行為は、絶対に行わないよう市民の皆様呼びかけてまいります。

安来市長就任後、初の定例会議となります12月定例会議の開議にあたり、今後の市政運営の基本的な考え方を申し述べます。

「次の世代につなげる安来市」、私はこう訴えて市長に当選しました。「オールやすぎで、安心・安全な夢のもてる市政づくり」を念頭に市政運営を進めてまいります。

その実現のために、まず取り組まなければならないのは財政の健全化、行財政改革であります。ひとつひとつの事業について、まず、行政でやらなければならないことなのかを精査し、民間でできることは民間に担っていただく。市で担う場合も、今あるものを活用できないかなど、検討しながら取り組みを進め、市民サービスに影響が出ないよう、コスト削減を図ってまいります。

あわせて、公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の適正配置を進めるとともに、市の所有するその他の資産についても適宜整理を行い、維持管理コストの軽減、削減に取り組んでまいります。

一方、財政の収支バランスを改善していくためには、コスト削減だけでなく、税収を増やすための取り組みが不可欠であります。

安来市を拠点とする企業を増やすことで産業のすそ野を広げるため、素材生産に強みを持つ市内産業の特色を生かし、最終加工を行える企業等の誘致を強化するとともに、スマートインターチェンジの設置により物流を効率化することで、地場産業の振興を図ってまいります。

さらに、安来市は全市に光ケーブル網が整備されている強みがあります。コロナ禍により東京一極集中から地方移転の動きが出てきている中、空き家等を活用したサテライトオフィスを整備するなど、ソフト企業の誘致も進めてまいります。

観光振興につきましては、現在は新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数の増加に見通しが立てにくい状況が続いておりますが、収束後を見据えて、国内だけでなく海外からも誘客できるようインバウンド対策に力を入れることが必要です。

海外観光客の誘客やそのためのプロモーションは、安来市単独では

なく、広域で取り組むことが費用対効果の面でも効率的と考えております。私は現在、中海・宍道湖・大山圏域市長会の会長でもありますので、圏域各市と連携を取りながら、その中心となって圏域が海外観光客の受け皿となるよう環境整備、魅力化を進めてまいります。

また、観光は、来てもらうだけではなく、安来に滞在し安来で消費していただくことが重要です。観光消費により安来市の経済が活性化するように、民間の力、アイデアを活かした民間主体の仕組みづくりを構築してまいります。

基幹産業のひとつである農林業につきましては、土地改良事業の推進により労働生産性の向上と大規模経営化を図るとともに、中山間地域農業農村総合整備事業の活用により、農業の生産条件等が不利な中山間地域の基盤整備、環境整備を進めてまいります。

また、農業のデジタル化を進めるため、安来市はモデル的な取り組みを行っております。ICTを活用することで、農業の省力化、品質の安定化を図るとともに、若者の農業参入を促すことができると考えております。

あわせて、営農組織の育成や特定地域づくり事業協同組合の活用、森林環境譲与税による森林の再生等の取り組みを進めることにより、農林業の後継者を確保し、農林業が持続可能なものとなるよう取り組んでまいります。

市民の皆様が安心して暮らしていくために、保健・医療・介護・福祉の充実は重要です。団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年に高齢者人口がピークを迎えると予測されていますが、安来市においては既に高齢化が進んでおり、高齢化社会に対応した医療提供体制の構築が必要です。

また、中山間地域の医療を支える自治体病院の果たす役割は大きく、市立病院の経営改革は急務であります。国で公立病院改革を所管している総務省、厚生労働省から助言をいただきながら、市立病院のあり方の検討を行い、地域の医療機関等と連携して、地域の実情に即した医療・介護・福祉の連携体制の構築を進めてまいります。

そして、その体制を支える医師・薬剤師・看護師・介護士等につきましても、人材確保のための仕組みを検討してまいります。

防災につきましては、近年、全国的に豪雨災害が続いている中、最新のデータに基づいた対策が必要です。浸水想定区域や土砂災害警戒区域等の再確認を行い、指定している避難所の安全性を速やかに精査し、ハザードマップ等で市民の皆様にも周知してまいります。

また、災害時に迅速に避難し、被害を軽減するためには、普段から

の防災意識の向上が不可欠です。市民の皆様がいざというときに適切な行動が取れるよう、地域防災組織の育成等により地域防災力の強化を図り、安心・安全な安来市の実現を目指してまいります。

子育て支援につきましては、放課後児童クラブの充実や病児保育の実施により、子育てしやすい環境を整備するとともに、女性活躍の推進につなげてまいりたいと考えております。

教育につきましては、新学習指導要領全面実施に対応し、将来を担う人材を育成するため、ICT教育のための環境整備を推進してまいります。

あわせて、将来の人口動態を見据えながら、学校配置の適正化についても調査、検討を進めていかなければならないと考えております。

また、「しまね留学」により、若い人材を安来市に迎え入れ、その後も安来市に関わってもらえるよう受け入れ体制を構築するとともに、関係人口の拡大や定住推進のため、私自らが各地に足を運び、トップセールスで安来市の魅力発信や人材獲得、企業誘致に取り組んでまいります。

定住対策に関しましては、私は、これまで地元の定住促進協議会で

U・Iターンのイベントに参加し、多くの移住希望者の声を直接聞いてきました。その中で、安来にはどんな仕事があるのかと聞かれて、即答できずに困った経験があります。その後、これではいけないと地元事業者の方々に教えていただきながら、安来には非常に多様で、優れた事業所がたくさんあることを学びました。自分の不見識を反省するとともに、地元の方々、特に若い人たちに、安来に素晴らしい仕事があることをもっと知ってもらうことで、安来に就職する人も増えるのではないかとの思いを強くしました。

U・Iターンの促進とあわせまして、地元の人にもっと安来を知ってもらい、好きになってもらい、定住してもらえる取り組みを進めてまいりたいと考えております。

最後に、安来市を次の世代につなげていくためには、将来を担う若者に夢を描いてもらうことが必要です。市役所と市内企業の若手職員同士が意見交換や交流ができる場を設けたいと考えております。

地域づくりは、人と人が直接向き合って話し合いをしながら、未来志向で進めることが重要です。

私自身も、市民の皆様と意見を交わす場を定期的に設けまして、ともに安来の未来を描いていきたいと考えております。

市政運営にあたりましては、現状を的確に把握し、情報を分析し、

決断、実行してまいります。

安来市の未来のため、全身全霊で取り組んでまいりますので、市民ならびに議員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

今回提案します案件は、議決案件18件、報告案件2件であります。
ご審議のほど、よろしくお願いいたします。